

NPOによる町内LANを用いた 地域情報化とまちづくり

石盛 真徳 (京都光華女子大学人間関係学部)

藤澤 等 (県立長崎シーボルト大学国際情報学部)

2004/3/21 日本NPO学会第6回年次大会 発表資料

Mail: ishimori@mail.koka.ac.jp

地域情報とは

地域情報の分類 (林, 1999)

地域問題(争点)情報

地域生活(便益)情報

地域文化情報

地域イベント情報

地域住民のニーズに応える情報であるとともに
住民みずからが生み出す情報であることが必要

地域情報化の現状と課題

- ◆ ブロードバンドサービス (FTTH、CATV、DSL) の加入者数は1,360万件を突破 (2003年12月)
- ◆ 地域の情報通信インフラ整備には、関西ブロードバンド(h555.net)のような活動も展開

現在の課題:

ブロードバンドを有効活用し、地域で必要な情報を提供し合うための仕組みを作ること

各地で多様な地域情報化活動が展開

- ◆ 日本サステイナブル・コミュニティ・センター
(京都市): 「観光客・視覚障害者にとっても利用しやすい情報自由都市にしよう」という
みあこネット(Mobile Internet Access in
Kyoto) プロジェクト
- ◆ 人吉球磨広域行政組合(熊本県)
地域の住民がディレクターとして、企画から
取材、出演、収録の全てを担当するテレビ
番組「人吉球磨新発見伝」の制作

長崎県西彼杵郡長与町における にんじんネット協議会の活動

- ◆ 無線LAN技術を用いた町内LANの自前整備
- ◆ NPO法人による運営
- ◆ 顔の見える情報交流による地域活性化
- ◆ 他地域のNPO法人との協力体制

長崎県西彼杵郡長与町の概要

- ◆ 長崎市の中心部から約10kmに位置
- ◆ 町の北側は大村湾に面し、町の北東には琴の尾岳がある、自然豊かな環境
- ◆ 1970年頃より、急速に長崎市のベッドタウンとして都市化
- ◆ 現在も、長崎市からの流入による人口増加が続く(現人口約4万2千人)
- ◆ 就業者の約7割が第三次産業に従事



にんじんネットの歩み(1)

2001年6月 計画段階 (石盛・藤澤, 2003)

- ◆ 無線LAN技術 (IEEE.802.11b) の採用:
ストリーミング可能・安価
- ◆ NPO法人化: 地域活性化への貢献
- ◆ シーボルト大学前3町・1361世帯を対象エリアに
(教員住宅にAPアンテナ設置、電波の届く範囲)
町内全域を対象エリアに
- ◆ 200世帯加入で無料化計画 (設備投資は藤澤の私費) 月会費1500円

当初の計画における対象エリア



IEEE.802.11b規格の概要

- ◆ 高速11Mbpsの伝送速度(ただしLAN内)
- ◆ ISMバンドと呼ばれる2.4GHz帯を使って通信
: 工業・医療・産業等に用いられる周波数帯で、
免許不要。電子レンジ・Bluetooth・アマチュア
無線などが利用。
- ◆ 14チャンネルの周波数帯で通信が可能。

長与町におけるインターネット接続環境

2001年6月当時と2004年3月現在

・NTT西日本による接続:

ISDN回線64kbps フレッツADSLモア24
(下り24Mbps・上り1Mbps) 月額2655円

・CATV(長崎ケーブルメディア)による接続:

128Kbps 下り30Mbps・上り5Mbps
月額4900円

にんじんネットの歩み(2)

2001年11月 試験開局

- ◆ 南陽台にアンテナ塔と事務局を設置
- ◆ サーバ等のシステム構築・アクセスポイント設置
- ◆ 会員の募集・広報活動 約60世帯の申し込み
- ◆ 試験開局 しかし無線LAN機器のトラブル発生
翌年1月まで延期。
- ◆ 2度目の試験開局 再び機器上のトラブル発生
結局、4月まで開局延期

南陽台の事務局とアンテナ塔



無線LAN子機アンテナ



ボランティアの募集説明会

2001年12月9日(出席者 14名(男性10名、女性4名))

参加動機

- ・さまざまなボランティア・グループとのリンクをしていきたい(60代男性)
- ・定年退職後、何か自分の興味のあるもので活動してみたい(60代男性)
- ・ずっと住むことになるであろう長与の町をより良くしたい(30代男性)

しかし、この時点ではトラブル対応に追われ、ボランティア志望者のコーディネートできず

にんじんネットの歩み(3)

2002年4月 運営体制の整備と本開局

- ◆ サーバ、子機、APを交換し新たなインフラに
- ◆ ボランティアによる入会希望者への電波受信状況調査
- ◆ HPづくり:「もう一つの長与町をつくろう」とボランティア・メンバーが参加
- ◆ 理事会の刷新: 5名全員を長与在住者に
2002年4月 無事に本開局

にんじんネット アンテナ位置 (2002/5/15)

町内LAN 整備状況 (2002/5/15)

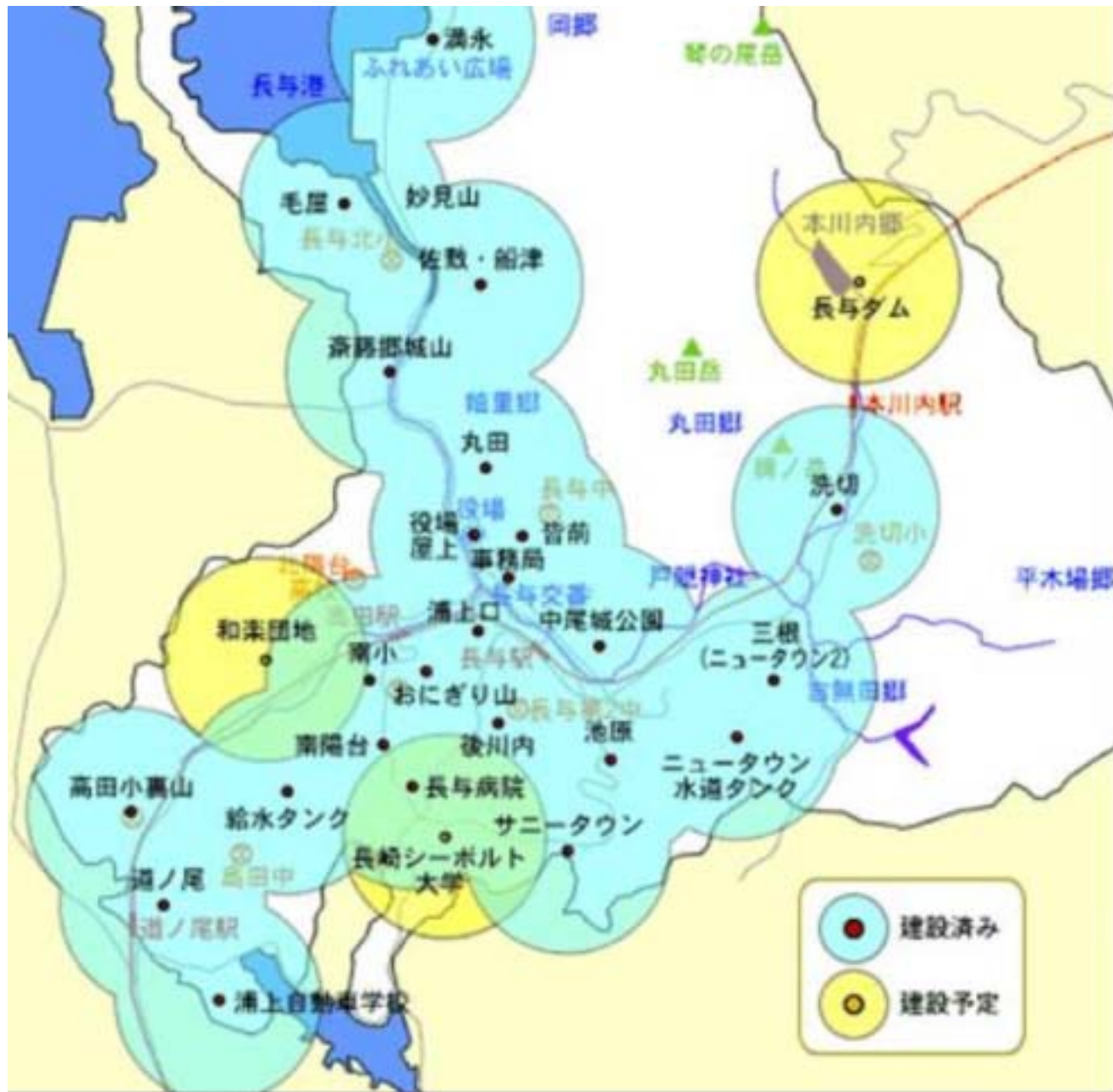


にんじんネットの現状

2004年3月

- ◆ 24ヶ所のアクセスポイントの設置
町内の居住地域のほぼ全域が対象エリア
- ◆ インフラの充実：インターネットへのバックボーン
の増強、機器のIEEE.802.11g規格への更新
町内LANとして十分機能するインフラに
- ◆ 電波調査・HP更新等の運営体制の確立
会員約340世帯に順調にサービス提供
新規会員も入会し、一年間で100名増

町内LAN整備状況 (2004年3月)



Web上での提供コンテンツ

- ◆ 各種地域情報：「イベント情報」・「ギャラリー情報」・「募集情報」
- ◆ 情報交流：掲示板（パソコンなんでも相談など）
- ◆ 情報化支援サービス：「長与1000のホームページ」・「サークルを作ろう」
- ◆ 地域デジタルアーカイブ：「ビデオライブラリ」・「デジカメ通信」

Web以外での地域情報化活動

- ◆ IT講習会(毎秋開催):「地域の人が地域の人に教え合おう」長与在住のボランティアが講師に
- ◆ デモ機の設置(町役場・道ノ尾温泉・JR長与駅コミュニティホール):新規会員の募集と施設利用者の利便性に寄与
- ◆ 長崎ゆめ総体ヨット競技生中継(2003年8月):福岡県遠賀郡岡垣町のNPO法人LANTVネットと協力し、日本初のヨット競技生中継を実現

道ノ尾温泉デモ機



ヨット競技中継(1)



ヨット競技中継(2)



ヨット競技中継(3)



今後の課題(1)

- ◆ 今後の設備更新や新たなコンテンツ提供プロジェクトを行うための資金力の確保
- ◆ 長与町の近隣2町との合併後のサービス提供
- ◆ にんじんネットモデル(無線LAN技術による低コスト化 + NPO主体による運営)のノウハウ提供(すでにLANTVネットや長崎県大村市のよかもん・ネットに対して実施) 協力体制により魅力的なコンテンツ配信が可能に

今後の課題(2)

- ◆ なすびネット(Nagasaki SOHO Business Net)などの他の草の根のIT関連団体・まちづくり団体との連携強化

地域情報の一層の集積・発信

一般会員の参加拡大

顔の見える情報交流による地域活性化
の実現

BeeBox(にんじんネット事務局内)



引用文献

- ◆ 林茂樹 (1999) 『地域情報化の過程』 船津衛編著「地域情報化と社会心理」pp.30-54.
- ◆ 石盛真徳・藤澤等 (2003) NPOによる地域情報化の取り組み 長崎県西彼杵郡長与町におけるにんじんネット協議会の活動を中心として 日本グループ・ダイナミクス学会第50回大会発表論文集 pp.222-223.

参考URL

人吉球磨広域行政組合 <http://www.hitoyoshikuma.com/>

関西ブロードバンドh555.net <http://www.h555.net/service/index.html>

LANTVネット <http://www.lantv.jp/>

なすびネット <http://www.nasubi-net.com/>

長崎ケーブルメディア <http://www.cncm.ne.jp/>

長与町ホームページ <http://webtown.nagayo.jp/>

なすびネット <http://www.nasubi-net.com/>

日本サスティナブル・コミュニティ・センター(SCCJ)みあこネットプロジェクト
<http://www.miako.net/>

にんじんネット協議会 <http://www.ninjin-net.com/>

NTT西日本 <http://www.ntt-west.co.jp/>

総務省情報通信統計データベース・インターネット接続サービスの利用者数等
の推移 http://www.soumu.go.jp/s-news/2004/040130_1.html

よかもん・ネット <http://www.yokamon.net/>